

## 第1学年 単元名「ともだちのこと、しらせよう」

### 学習の内容

#### ●はてなことばを使う。

「いつ」「どこで」などの質問することばを使って尋ねることによって、

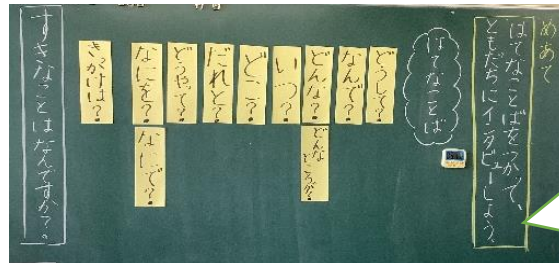
①自分の知りたい内容を知ることができる。

②より詳しい内容を書くことができる。

以上の2点に気づかせる。

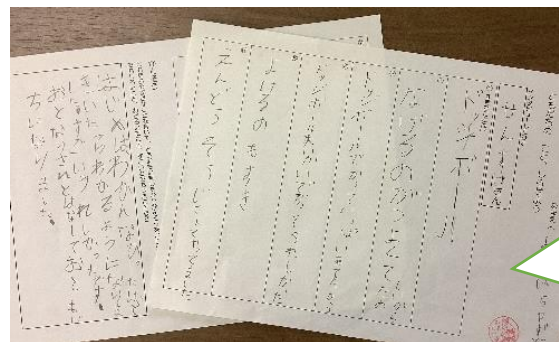
#### ●紹介する文章を書く

相手から聞いたことを、クロームブックを使って確認、整理し、友達を紹介する文章に書き表していく。友達のことを伝える言い方を学ぶとともに、友達のことを聞いて自分の感想を書くようにした。



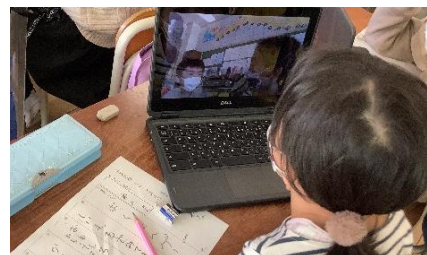
本時の板書

はてなことばを  
使えるように提示

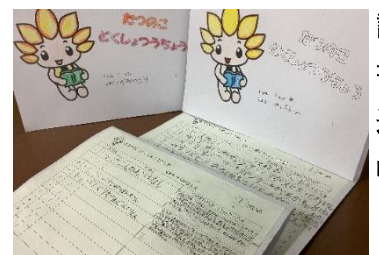


ワークシート

友達が答えたことを  
書くようにした



ICTの活用



読書通帳

### 相手意識・目的意識の 明確化

どの児童も自信をもって活動に臨めるように、簡単なテーマで友達に質問をするミニトークの場、いろいろな友達に質問をするフリートークの場を設定し、段階的にインタビューをできるようにした。取材の回数を多く行った結果、スムーズに活動に取り組むことができた。また、どんなことを質問したら相手についてわかるのかを、確認していたことで、知りたいことを自分たちで考えながら質問できた。

### 自信をもって表現できる ようにするための工夫

ほめほめシャワーでは、帰りの会で友達のいいなと思ったところを紹介させ、みんなに知らせることに喜びを感じられるようにした。発表の話型を使いながら練習し、本番も自信をもって発表できた。視写は、毎週末に課題として取り組ませることで、語彙力の充実、集中力の向上、作文の表現力が身につくようにした。字を書くことへの抵抗感も減り、たくさんの言葉にふれることができた。

### 振り返りと 学習評価の充実

1年生という発達段階において、インタビューしながら回答を記録することは難しく、折角質問した内容を十分に伝えられずに終わってしまうと考え、インタビューの様子を動画にした。動画を見ながら自分で聞いたことを振り返ることができよかったが、聞き落とさないという点で、「あとで見られるから大丈夫」という気持ちにさせてしまった可能性がある。忘れてしまった児童はあとでみるにしてもよかった。